セキュリティ診断

「内製化」の不安を解消！

「自走できる状態」をつくる伴走支援とは

Agenda

前半パート

- 外部委託での診断
- 内製化の課題とツール選定

後半パート

- 内製化「成功」のカギとは
- 内製化の課題・解決策

登壇者紹介

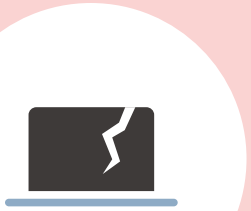
株式会社エーアイセキュリティラボ

CX本部プリセールスリーダー　**髙橋 貴弘**

小売店向けPOSレジサービス等のセールスとして約3年間従事したのち、定期通販向けカートシステム業界にてカスタマーサクセスリーダーを担当。
ECサイトにおけるDX推進を100社以上支援し、業務フロー改善やKPI設計にも深く関わる。
2023年より現職。プリセールスリーダーとしてAeyeScanの導入支援に多数携わり、エンタープライズからSaaSスタートアップまで、さまざまな企業の課題解決を支援している。

脆弱性診断を取り巻く現状

攻撃増加



診断義務化

対応負荷増大

診断手法として**外部委託を選択するケース**が多いのではないでしょうか

なぜ年度末は脆弱性診断が混み合うのか

診断スケジュール集中

年に1度の診断実施を
年度末に設定している
企業が多い

リリースラッシュ

新年度リリース前の
システムやアプリに
対する診断が集中

セキュリティ監査対応

監査・認証対応の一環で
年度末に診断する
ケースも多い

外部ベンダーの予約は1〜2か月先まで埋まり、診断スケジュール調整が困難に

外部委託中心運用の限界

「専門性の高い診断は外部委託に頼らざるを得ない」――混みあう時期にその手段だけに依存すると、
非効率さだけでなく、本来の目的であるセキュリティ確保が難しくなるケースも

委託先との連携に
余分な工数がかかる

診断タイミングを
柔軟に調整できない

追加の依頼ができず
リスク見逃しが発生

外部委託　診断完了までのフロー図

診断準備

- 対象調査
- 要件定義
- 環境準備
- 日程調整
  契約・発注

診断実行

- シナリオ作成/サイト巡回
- 脆弱性診断
- 結果報告

修正対応

- トリアージ
- 修正対応
- 再診断

脆弱性診断の内製化と“自走できる状態”とは・・・？

内製化を阻む壁

？

診断の**品質を維持**できるだろうか？

？

コスト（費用・時間）を抑えられるか？

？

社内メンバーで対応できるだろうか？

＋

内製化に向けた体制を組み、運用にのせられるか？

診断手法ごとの特徴

実は、内製化を検討しても、人材・知識不足や管理工数が課題となりやすい

スタイル	特徴	方法	メリット	課題
外部委託	専門業者に依頼	手動診断が多いが 直近では自動診断も登場	専門性が高く高精度 多くの場合「人の目」で チェックが入っている	相対的にコストが高く 各種調整の負担が大きい
ハイブリッド	一部を外部委託するが 残りは自社で診断する	複数手法を組み合わせる	バランスを考慮可能	対応範囲が広い場合には 管理工数が増える可能性
内製化（自社実施）	社内セキュリティ部門や 開発チームが診断	脆弱性診断ツールを 利用することが多い	コストも抑えられる上 柔軟な対応が可能 ノウハウも蓄積される	一定レベルの社内人材や 業務フロー/ルールが必要

だから、誰でも使える診断ツールを選ぶことが重要となる

AeyeSecurityLab

生成AI時代の脆弱性診断なら AeyeScan

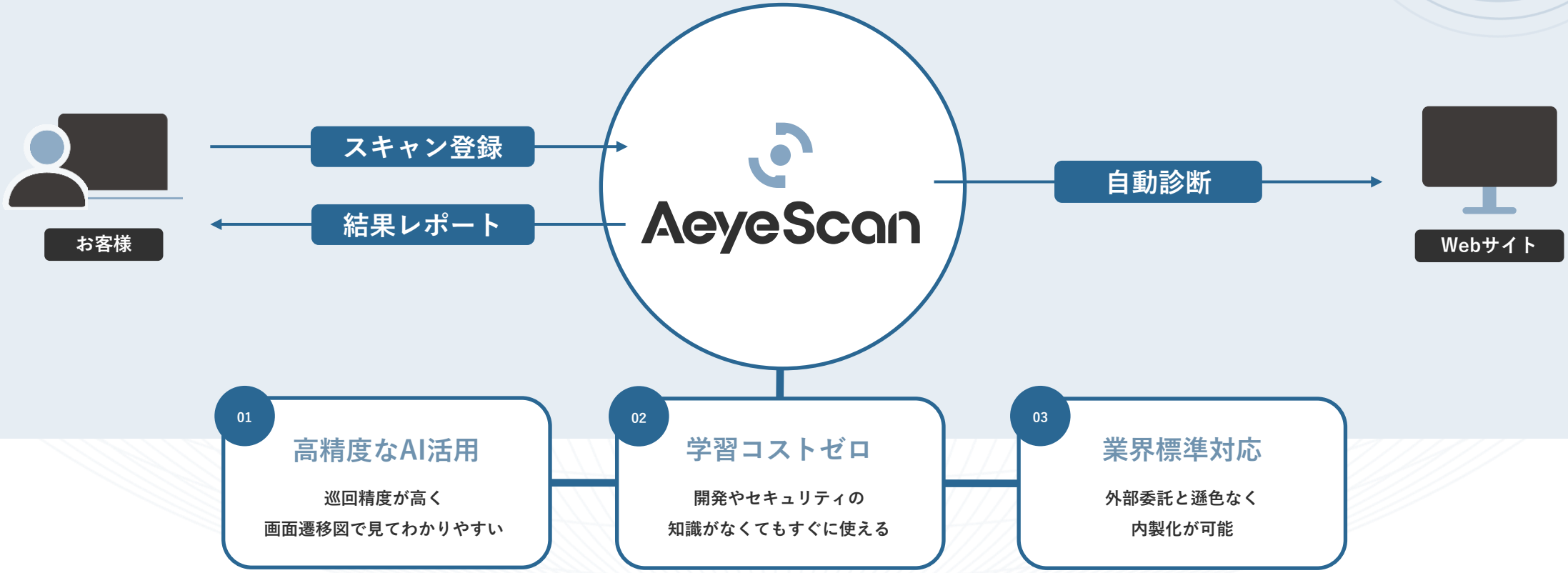
クラウド型Webアプリケーション
脆弱性検査ツール

国内市場シェア
No.1※

※ 富士キメラ総研調べ「2025 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 市場編」
Webアプリケーション脆弱性検査ツール ベンダーシェア（2024年度実績）

※ITR調べ「ITR Market View：サイバー・セキュリティ対策市場2025」SaaS型
Webアプリケーション脆弱性管理市場：ベンダー別売上金額シェア（2024年度実績）

有償契約
300社以上



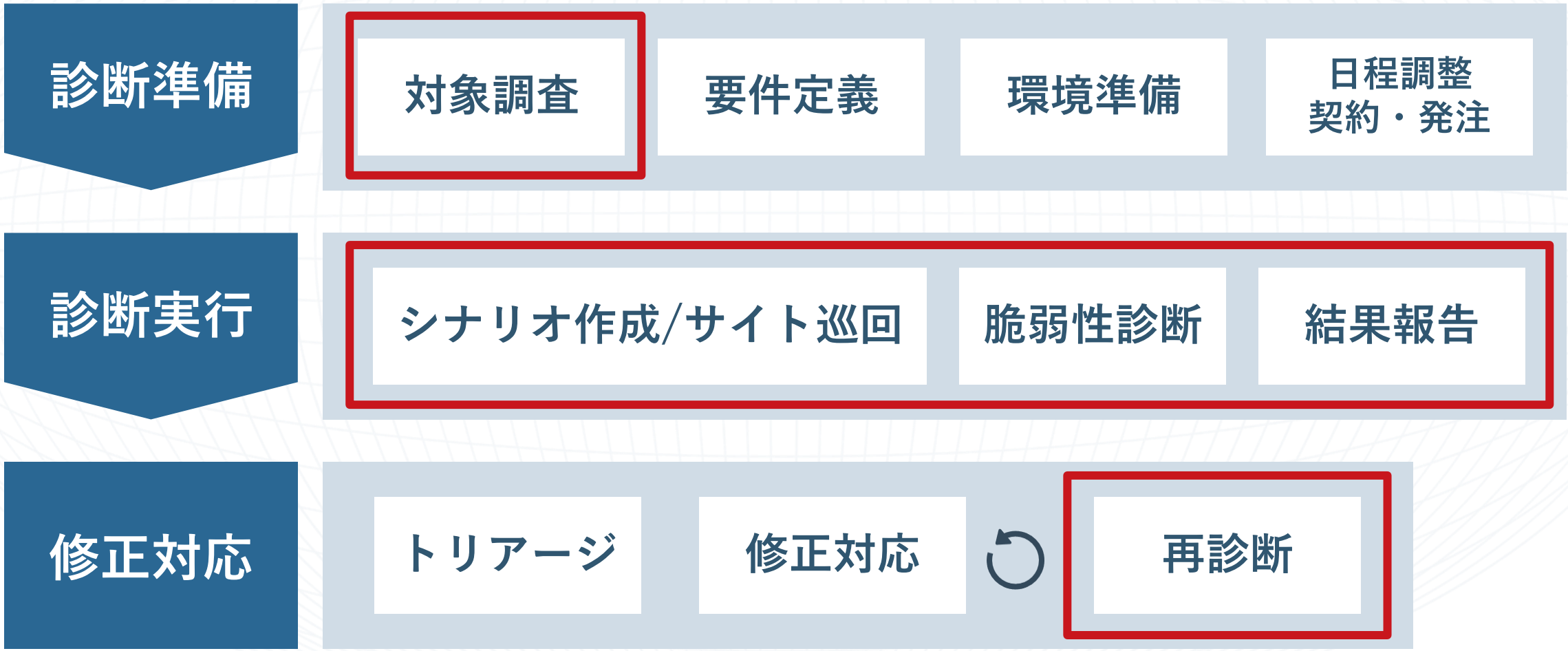
01
高精度なAI活用
巡回精度が高く
画面遷移図で見てわかりやすい

02
学習コストゼロ
開発やセキュリティの
知識がなくてもすぐに使える

03
業界標準対応
外部委託と遜色なく
内製化が可能

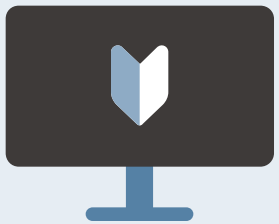
AeyeSecurityLab

AI活用で、脆弱性診断プロセスの大部分を自動化・省力化できる



AeyeSecurityLab

AeyeScanが選ばれている理由



誰でもかんたん操作

開発やセキュリティの知識がなくても、
トレーニングなしで診断可能。

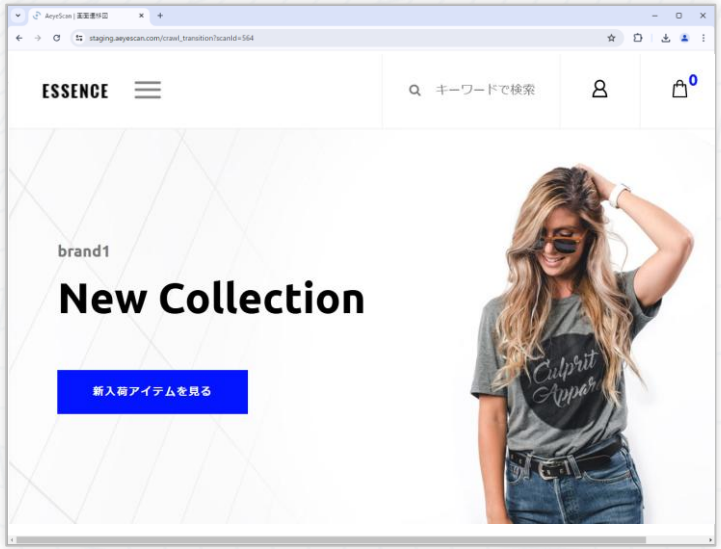
AIによる自動診断

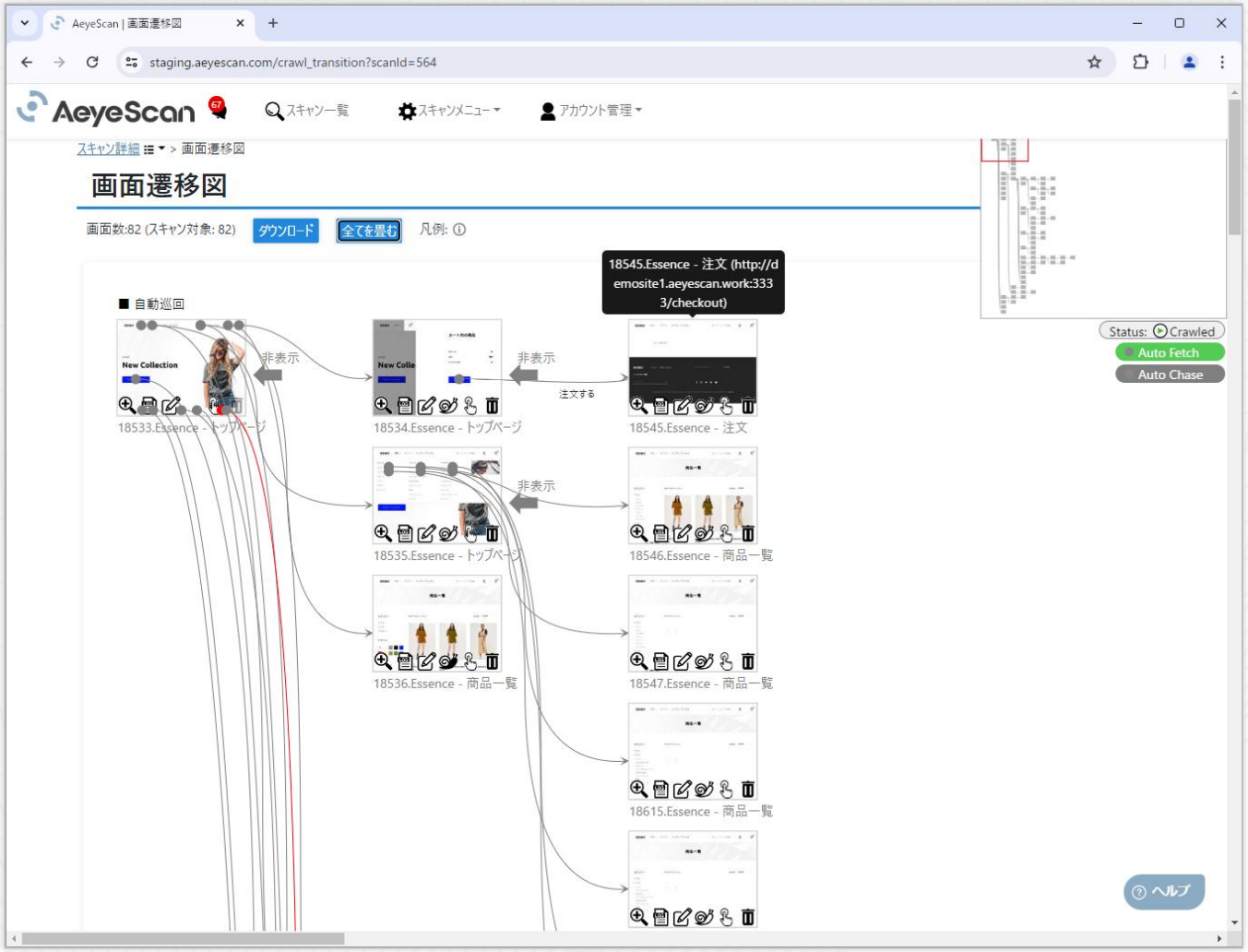
圧倒的な巡回精度で
24時間自動で診断。
画面遷移図で状況を可視化。

わかりやすいレポート

各種ガイドラインに準拠した
プロ仕様のレポート出力、
日本語と英語に対応。

巡回時に、自動で画面遷移図を生成





AeyeSecurityLab

結果がわかりやすく、すぐさま修正作業に取り組めるレポート

登壇者紹介

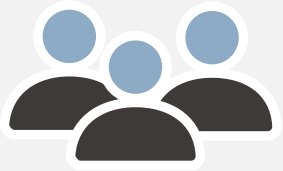
株式会社エーアイセキュリティラボ

事業企画部 ディレクター　**阿部 一真**（あべ かずま）

新卒でNTTデータに入社し、Salesforceビジネス推進部門で
コンサルティングセールス・カスタマーサクセスを経験。
その後、AIベンチャー企業・SaaSスタートアップ企業にてCS責任者
およびプロダクトマネージャー・事業統括責任者を歴任し、エーアイ
セキュリティラボに入社。
現在はCXチームでの活動に加え、新規プロダクト企画・海外事業
展開など全社横断プロジェクトにも携わる。

内製化「成功のカギ」とは？

脆弱性診断の内製化は、体制づくり・運用設計がカギ！



課題 1

どういう体制を組めばいい？

今まで外部ベンダーに
委託していたので

社内で診断業務を完結させようと
したとき
必要な業務・役割が分からない…

課題 2

どうやって運用ルールを作る？

運用ルールを作る、といっても…
非現実的なルールを
作ってもしょうがないし

どんな観点で、何について
決めればいい？

課題 3

どこから手を付ければいい？

診断には、サイトを管理している
事業部門や開発部門との調整が必須。
限りある工数を

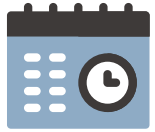
どのように優先順位付けすれば
いいか分からない…

AeyeSecurityLab

脆弱性診断「内製化」の進め方

脆弱性診断におけるよくある課題 #1

脆弱性診断ツールを
導入したものの、
具体的にどう進めたら良いか分か
らない。



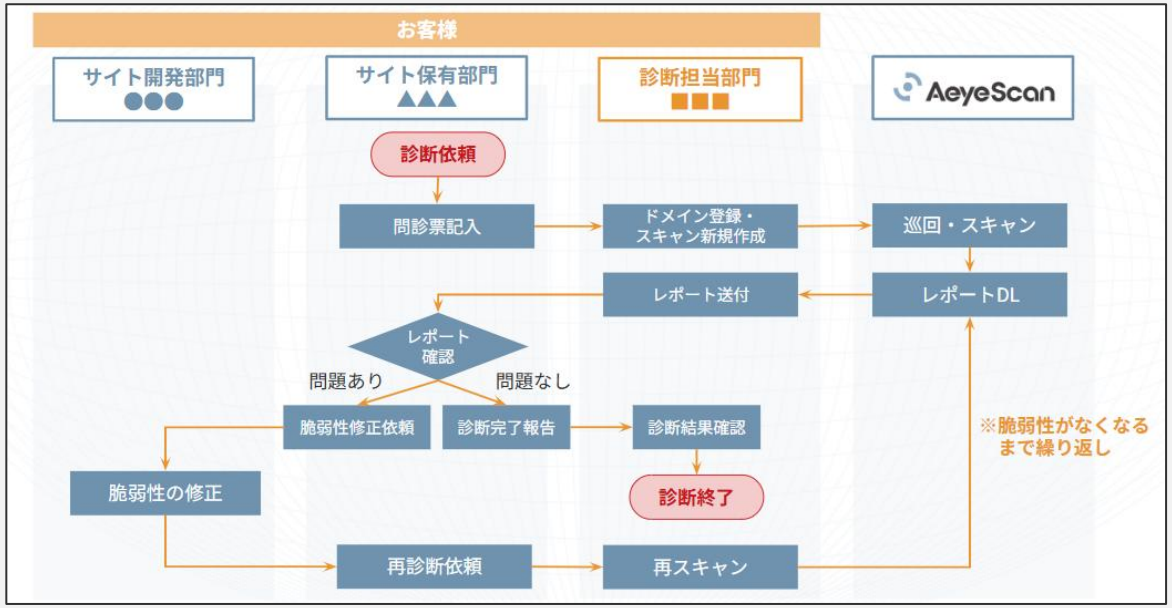
ざっくり役割を決めて
進めているが、
思った以上にツール利用以外の
工程で時間がかかってしまった。

AeyeSecurityLab

脆弱性診断に特化した業務フロー作成

「誰が」「いつ」「なにを」するのか、あらかじめ明確にすることで
ボトルネックや解決策のシミュレーションができます！

貴社と同様のフローの企業が
どのような悩みを持っていたのか？
どうやって解消してきたのか？など
他社事例も踏まえたご提案を
させていただきます。



脆弱性診断におけるよくある課題 #2

脆弱性診断をどの範囲に対して
どのタイミングで
実施すればよいかわからない。

サイト保有部門が脆弱性診断に
応じてくれない。
必要性を理解してくれない。

AeyeSecurityLab

脆弱性診断ルールの策定

多くの企業で策定している項目（ベストプラクティス）に沿って、
貴社のご状況に合わせた独自のルール作成をご支援いたします。
同業種・同規模の他社事例の情報提供も可能です。

初回診断“前”に必要

診断対象・範囲

- 社外公開有無
- 重要情報の取り扱い有無
- 動的サイト/静的サイト有無

診断タイミング・頻度

- 随時診断の実施有無と頻度
  （新規リリース/機能追加・改修）
- 定期診断の実施有無と頻度

初回診断“後”に検討

診断対象の棚卸

- 棚卸の頻度
- 棚卸の方法

診断手法の棲み分け

- AeyeScanのみ/
  手動診断・外部委託と併用
- （併用の場合）切り分けの基準

脆弱性の修正基準（トリアージ）

- 修正対象の基準
- 修正期限

脆弱性診断実施状況の監査・確認

- ルールに基づいた
  診断および修正状況の確認
- 確認方法

脆弱性診断におけるよくある課題 #3

診断対象のサイトが複数あるが、
どれから着手すべきか
決まっていない。

診断実施時の調整ごとが多く
スケジュール通りに実施できない。

診断スケジュール作成支援

診断対象サイトへの診断計画を策定することで、
効率よく・円滑に診断していくことができます。

診断計画が決まっていない場合は、弊社で**計画策定をご支援**いたします。

おすすめの進め方

- 初回診断対象の棚卸
- 診断の優先度を定義・評価

まずは診断業務が問題なく回せるかどうかの検証も含め、

向こう３ヶ月の診断計画を立ててみましょう！

診断優先度の決定とスケジュール化

診断対象サイトの優先度が決まったら、以下に基づいてスケジュール化します。

優先順位の付け方

難易度＞重要度＞緊急度

難易度が低いものから先に実施し、
その間に難易度が高い＝事前調整が必要なサイトへ調整を進めておきます。

難易度：低のサイト → 事前準備 → 診断 → 事後対応

難易度：高のサイト → 事前準備 → 診断 → 事後対応

⋮

導入後の変化

手動での診断作業にかかる工数を大幅に削減できました。
また、レポートの内容も分かりやすいため、開発者への説明が格段にしやすくなりました

委託先の担当者に対してUIを提供できることは非常に助かっています。
修正の依頼をこちらで細かくまとめて伝える必要がなく、UI上のどの問題を対応して欲しいのか伝えるだけで、委託先の担当者の方が直接UIを確認し、対応を行うことが可能になっています

社内に診断ノウハウが蓄積されるため、より迅速かつ的確なセキュリティ対策を講じることが可能となり、組織全体のセキュリティレベル向上に繋がります

診断回数や実施タイミングの制限がなく、必要なタイミングでいつでも自由に診断ができることも、何か新しいWebサイトやサービスを公開するタイミングで非常に役立っています

まとめ：脆弱性診断「内製化」のポイント

失敗例

- 外部委託の要件をそのまま適用
- 最初から全社一斉に利用開始
- 現場だけで内製化を進めようとする（上位層を巻き込めていない）

成功例

- 外部診断／内製診断を使い分ける
- 優先順位を付けて、
  クイック＆スモールに始める
- 内製化の目的や意義を上位層と
  合意し、段階的に進めていく

さまざまな企業さまに導入いただいております

ユーザー企業

人材・教育

河合塾 / Junion / JINSOKEN / ZENKIGEN / Direct Sourcing / PERSOL / Leverages / workport

インフラ

EPARK / AIRE / HIS / NTT EAST / odakyu / 近鉄情報システム株式会社 / SymEnergy / 水ing / Suzuyo / NANKAI / 日本調剤 / HITOWA GROUP / ベルーナ / Looop / Loyalty Marketing, Inc.

金融

MS&ADインターリスク総研 / JOBPAY / SOMPOひまわり生命 / DMM FinTech / Tokyo Century / Net Protections

メディア

集英社 / 中日新聞 / NIKKEI / Media Do

製造

AICA / AISIN / KITZ / KOSÉ / SAKI / TIGER / TEIJIN / Denkei / House / Mizuno / ユーグレナ

エンタメ

イープラス / CAPCOM / GungHo / とらラボ! / BookLive

SaaS

Advanced Media, Inc. / Lexica / estie / M-aid / エムティーアイ / OZ INTERNATIONAL / Classi / COACH A Co, Ltd. / cybozu / Speee / SecureNavi / Diamond head / DMM Boost / TAL / Digital Garage / TEMONA / NAVITIME / KNOCK ON THE DOOR / BATONZ / VALUE HR / freee / vector / porters / hokan / Money Forward / RUN.EDGE / RVSTA / Rescuenow

SI・IT企業

Rworks / アクモス株式会社 / AVANT GROUP / Insight Edge / Infcurion / 80&Co. / SBWorks / NTT Integration / NTT DATA / NTTビジネスソリューションズ / OMRON / Globalway / KDDI / circlace / さくら情報システム / SUNDAY SYSTEMS / CEC / GA TECHNOLOGIES / tdi / Simplex Inc. / 777WORKS / SOFT CREATE / SOLTEC / 高千穂交易株式会社 / 電通総研 / TOPPAN / JOPS / JAST / PCNET / Human Interactive Technology inc. / FUJISOFT / FUJITSU / MACROMILL / YONA / リピスト

セキュリティ企業

NEC NECセキュリティ / NTT DATA / GSX / cybertrust / LAC

社名五十音順（導入いただいた企業様の一部です）

AeyeScanの導入を検討してみませんか？

操作性の確認、実際に利用してみたい方へ

AeyeScanの 無料トライアル

トライアルにかかる費用は不要。実際の操作性はどうなの？
またどのように脆弱性が発見されるのか？
などの疑問は無料トライアルで解消しましょう。

無料トライアルの申し込み

お見積りの希望・導入をご検討している方へ

AeyeScanへの お問い合わせ

お見積りの希望・導入をご検討してくださっている方は
お問い合わせフォームよりご連絡ください。
当日もしくは遅くとも翌営業日にはご連絡を差し上げます。

お問い合わせフォーム

期間限定

はじめての脆弱性診断
応援キャンペーン

―自社サイトで診断結果を確認できます―

詳細はこちらから

✓ 「自社サイト」で試せる！ 実際の診断対象サイトでトライアルが可能
✓ 診断結果の「内容」をすぐにチェック可能！

- キャンペーン申込期間：2026/2/2（月）～2026/3/27（金）17:00
- 対象：「AeyeScan」を初めてお試しいただくお客様

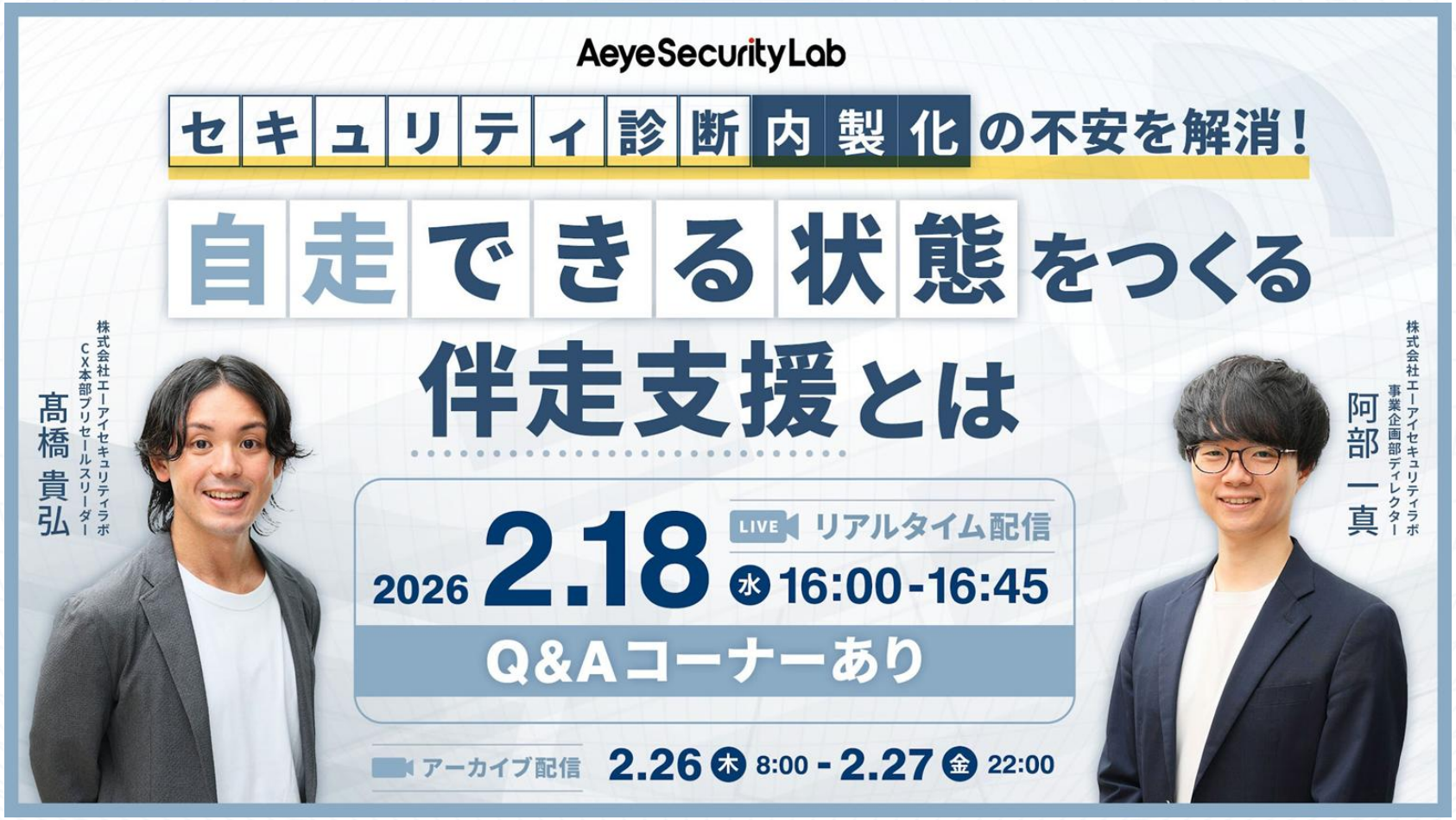
詳細・お申込みはこちらから

AeyeScanが選ばれている理由

誰でも使える操作性 × プロが認める機能・性能

AeyeScanを実際に操作してみませんか？

期間限定アーカイブ配信



※アーカイブ配信はQ&Aコーナーはございません。

次回予告

脆弱性診断リードタイムを 数ヶ月 から 数週間 へ。

3月末までに修正を完了させる最短ルートを公開

2026
3.4

LIVE リアルタイム配信
水 16:00-16:30

アーカイブ配信
3.12 木 8:00
-3.13 金 22:00

AeyeSecurityLab

株式会社エーアイセキュリティラボ
CX本部プリセールスリーダー
髙橋 貴弘

次回予告

足りないのは人手ではなく判断力だった!?

持続可能なセキュリティ対策に必要な“発想の転換”

2026
3.18

LIVE リアルタイム配信
水 16:00-16:30

アーカイブ配信
3.26 木 8:00
-3.27 金 22:00

阿部 一真
株式会社エーアイセキュリティラボ
事業企画部ディレクター

AeyeSecurityLab

セキュリティに、確かな答えを。